

エンドウ、スイカでのハダニ類の発生源はここだ！

[研究のねらい]

和歌山県中部のエンドウ、スイカ栽培ではハダニ類による被害が問題になっています。そこでハダニ類の発生源を解明し、圃場への侵入防止対策を確立します。

[研究の成果]

- ①カンザワハダニはカラスノエンドウやアケビで越冬し、4月頃にスイカやクサギへ移動します。秋季のエンドウには主にクサギから移動します。
- ②スイカ定植2週前にあたる3月上旬に、ハダニ類が越冬している畦畔雑草に除草剤を散布すると圃場での発生が少なくなります（図1）。
- ③ナミハダニは盛夏時の畦畔雑草では見られず、キク栽培圃場で発生し秋季のエンドウへ移動します。

[成果の活用面・留意点]

- ①キク栽培でのナミハダニ防除を励行することでエンドウへの移動を減らすことができます。収穫の残さを圃場周辺に放置しないことも重要です。



写真1 クサギ



写真2 カンザワハダニ



写真3 ナミハダニ

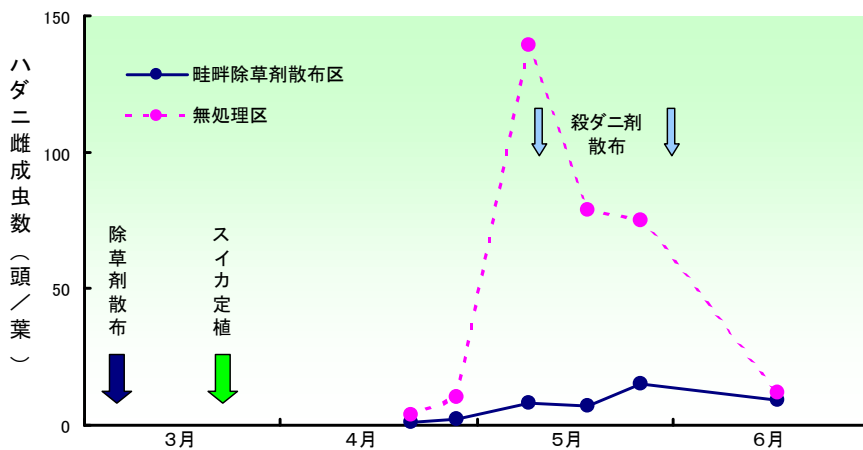


図1 スイカ圃場における畦畔雑草への除草剤散布によるハダニの発生抑制効果(1987年、印南町)

実施年度：平成3～5年

担当者：森下正彦、矢野貞彦、井口雅裕